

TICAD7 JICA Side Event

日時:8月27日(火) 13:00 - 17:00
場所:パシフィコ横浜「展示ホールC」



共催：国土交通省／アフリカ・インフラ協議会 (JAIDA)

アフリカにおける持続可能な都市と コネクティビティ向上の実現

—質の高いインフラがアフリカの都市にもたらす可能性—

背景

JICAの「持続可能な都市イニシアティブ」は、アフリカにおける持続可能な都市開発のさらなる加速化を目指し、日本の自治体の知見、民間企業の技術力、そして世界銀行をはじめとする援助機関との連携を通じて、実行性の高いモデルを提案することを目的としている。同イニシアティブは1,000万人以上の人口を抱えるメガシティなどの急速な都市化が進む地域をターゲットとしており、また、経済・社会・環境・金融およびエネルギーなどの分野において、計画と実践面から持続可能な開発を実現することを重視している。また、TICADではこれまでにアフリカにおける回廊開発として、3つの回廊の整備にかかるイニシアティブを表明しており、これらの取り組みの成果やノウハウは、今後、この3つ以外の回廊開発にも波及させていくことが期待されている。

目的

持続的な都市開発に関するこれまでの経験を踏まえ、都市や回廊開発、連結性強化に向けた課題を明確化し、またアフリカの持続可能な都市開発や地域統合の実現に向けて、質の高いインフラに代表される日本の民間企業の技術や、関係機関の知見がどのように貢献できるのか、議論を行う。

キークエスション

- ▶ 都市開発における持続可能性は何を意味し、実現に向けた課題は何か？
- ▶ 地域統合に向けた回廊開発や連結性強化の役割と、TICADイニシアティブの3回廊の成果や知見の中で、今後他回廊で活用が期待されるものは何か？
- ▶ 質の高いインフラは、アフリカの都市開発や回廊開発にどのように貢献できるのか？また、日本企業の技術や知見はどのような貢献ができるのか？

登壇者

Ibrahim Assane Mayaki AUDA-NEPAD長官／アフリカ4カ国からのハイレベル・スピーカー (コートジボワール、コンゴ民主共和国、ナイジェリア、タンザニア) (調整中)／御厨邦雄 世界税関機構(WCO) 事務総局長／Khaled Sherif アフリカ開発銀行(AfDB)副総裁／Sameh Wahba 世界銀行(World Bank) Global Director, Urban, Disaster Risk Management, Resilience and Land Global Practice／Mario Pezzini OECD開発センター所長／加藤 宏 JICA理事／外務省(調整中)／国土交通省(調整中)／JAIDA(調整中)／横浜市(調整中)

言語： 日本語 英語 仏語